

令和元年度 大阪府立旭高等学校 第2回学校運営協議会

日時：令和元年9月30日(月) 午後2時00分～午後4時00分

場所：本校校長室

委員

会長	関西大学文学部 准教授	森 勇太	
副会長	大阪市立旭陽中学校 校長	辰巳 千佳子	校務のため欠席
委員	大阪市立高殿小学校 校長	北浦 正美	校務のため欠席
委員	平成28年度本校PTA 会計監査	徳島 美穂	
委員	本校PTA副会長	佐藤 章子	
委員	本校PTA会計	安藤 裕美子	

■授業等見学

- 体育（3年）、数学Ⅱ（2年）、英語表現Ⅱ（2年）、生物（2年）、国語総合（1年）、書道Ⅰ（1年）を順次見学。
- グラウンド・体育館で、熱中症対策として本年度設置された「暑さ指数測定計」と「啓発用ポスター」を視察。

■意見交換

1 校長挨拶

- 日頃より本校の教育活動にご協力いただき感謝申し上げます。初めの授業見学では、今年度に旭高校に転任になった先生の授業を中心に見学していただいた。来年度は担任等としての指導にも期待している。

学校は文化祭等も終わり、落ち着いて授業を行う時期だが、暑さが続いている。今後、2年生は台湾への修学旅行がある。また、タイの姉妹校が来校する。本日は旭高校がさらに愛される学校になるように忌憚ないご意見をいただきたい。

2 委員挨拶

- 秋学期が始まった。延期していたオープンキャンパスは来場者が過去最多となるほど盛況だった。授業見学は若い先生が澆漑と授業しているのが印象に残った。
- 見学時、先生の声が大きかったのが印象に残った。生徒も楽しそうな雰囲気の中で授業を受けていた。
- 書道や美術など、専用の部屋があるということを知らなかった。設備が充実していて良い。
- 電子辞書を使っている姿を見て、便利で良さそうに感じた。昔は紙の辞書で大変だった。

3 広報活動について報告

①中学校訪問について

- 例年7月～8月に実施していたが、今年度は一時中断した。

- 理由は、2021 年度から始まる大学入学共通テスト、民間英語資格検定試験への対策、及び新学習指導要領に沿って 2022 年度入学生から行なわれる本校教育課程の策定などについて、中学校に説明する準備に時間が必要であり、中途半端な説明を避けることである。
- 新教育課程等の概要とそれに伴う将来への方針が決まり次第、中学校訪問を再開する予定である。

②学校説明会について

- 府教委主催の公立高校進学フェア(7 月)、大阪市各区または大東市の PTA 協議会・中学校等主催の高校説明会、民間教育団体主催の説明会に参加した。PTA 協議会・中学校等主催の説明会には、例年よりも多く参加した。
- 本校ブースに来られた方の数は、ほぼ前年度と同程度であったが、大きく増加した所もあった。
- 相談ブースに来られる方の質問内容が多かったもの
 - 部活動について/語学研修について/普通科と国際教養科の違いについて
- 本校の取り組みについて、多くの方に好評価をいただいている。
- 説明会に参加すると、旭高校が多くの方に期待されているということが分かる。新しく旭高校に来た先生をはじめ、多くの先生に説明会に参加してもらい、その期待を感じて欲しい。
- 「旭高校のブース」であることが分かりやすいように使用しているグッズの紹介
 - 椅子の背もたれカバー/タペストリー/テーブルクロス/ポスター
- オープンスクールは 3 回実施予定。例年、合計で 1600~1800 名に来ていただいている。
- 10 月 26 日のオープンスクールは、体験授業の希望者が 400 名を超えた。

4 各分掌の取り組み(誌上報告)

①進路指導部より

- (1 年) 大学見学会(10 月 21 日) 9 校へ訪問予定
- (2 年) 大学模擬授業(10 月 31 日) 大学の先生に来ていただく
- (3 年) 指定校推薦決定者、センター試験受験予定者ともに人数は昨年並み

②生活指導部より

- クラブ活動の実績を紹介

③図書教養部より

- 留学生の受け入れ状況を紹介
- 語学研修は、高校生の貴重な海外体験として成功裏に終了。

5 協議 「旭高校の魅力づくりにむけて」(司会：協議会会長 ●委員 □学校側事務局員)

- : 卒業生の親として、最近の旭高校の様子について聞かれることがある。スマホの使い方や化粧の指導は今も同じなのか。
- : 以前と大きく変わってはならず、スマホは校内では、原則使用しない。化粧をして登校する生徒には、個別に注意を与え、粘り強く指導している。

●：制服が可愛く、文化祭の雰囲気も良かった。聞かれたときには旭高校をおすすめしている。

●：進路について、指定校推薦の合格者数が近年は減っていると聞いたが、実際はどうか。

□：指定校推薦については昨年よりは少し減ったが、2年前の学年よりは大幅に人数が増えている。理由としては、2年ほど前からの私立大学の入学定員厳格化の影響を受け、先輩が入試に苦戦している姿を見たり、聞いたりする中で、指定校推薦に流れているのではと考えている。

●：進路指導部で貸し出している赤本の貸出期間が2泊3日と短いようだが、なぜなのか。

□：1人が長期間借りていると他の生徒が借りられないため、原則2泊3日の貸し出しとしている。人気校の赤本に希望が集中し、予算の関係上、1大学の赤本を何冊も揃えられない。

□：学校としては受験しようとしている学校の赤本については、購入するように指導している。購入する前に内容を検討する場合や、何年も前の過去問を解きたいという場合に、貸し出し利用してもらうことを想定している。

●：大学のオープンキャンパスで過去問や解説を配布しているところもある。活用して欲しい。

●：授業見学について、黒板の使い方の工夫やICT機器の使用方法について参考になった。

□：生徒は実際に書くことで覚えることも多いので、視覚的にわかりやすいICT機器を使うことと、実際に書いて学習することのバランスが大切であると考えている。

6 校長謝辞

- 引き続き授業を活性化し、安全安心な学校、希望する進路を実現できる学校を目指していく。

7 事務連絡

- 次回の開催予定日時の連絡